

米沢嘉博

『戦後怪奇マンガ史』展

～怪奇・恐怖マンガの系譜1948-1990～

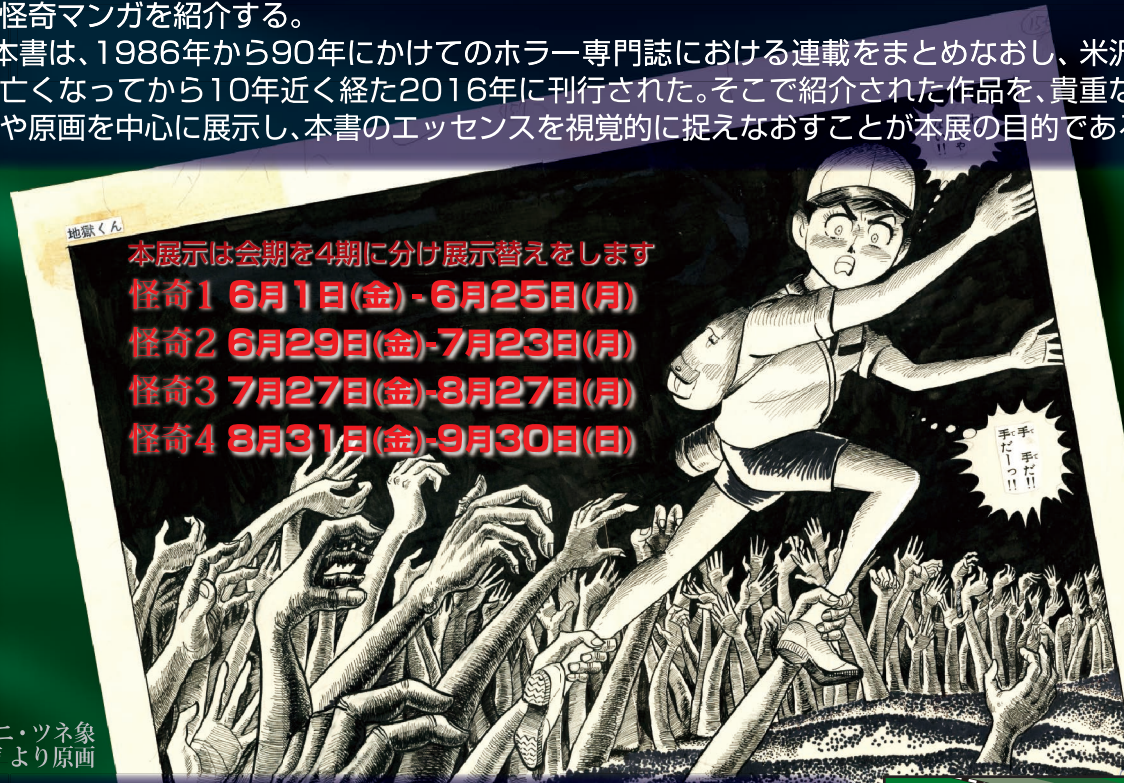
2階閲覧室に怪奇マンガコーナーを展開します



ムロタニ・ツネ象
「地獄くん」地獄の声より原画

本展示は米沢嘉博氏によって書かれた『戦後怪奇マンガ史』（鉄人社）に準拠する形で、戦後の怪奇マンガを紹介する。

本書は、1986年から90年にかけてのホラー専門誌における連載をまとめなおし、米沢氏が亡くなってから10年近く経た2016年に刊行された。そこで紹介された作品を、貴重な資料や原画を中心に展示し、本書のエッセンスを視覚的に捉えなおすことが本展の目的である。



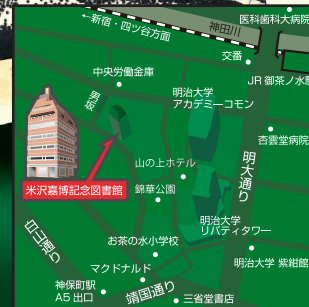
本展示は会期を4期に分け展示替えをします
怪奇1 6月1日(金)-6月25日(月)
怪奇2 6月29日(金)-7月23日(月)
怪奇3 7月27日(金)-8月27日(月)
怪奇4 8月31日(金)-9月30日(日)



米沢嘉博 (1953~2006) よねざわ・よしひろノマンガ評論家・コミックマーケット準備会前代表

1953年3月21日熊本県生まれ。明治大学在学中より評論活動を行う。1975年第1回コミックマーケット創立メンバーの一人。1980年から2006年まで同人誌即売会コミックマーケットの準備会代表を務めた。1980年より『戦後マンガ史三部作』を刊行、以後マンガ評論を中心に大衆文化関連の評論を行う。日本マンガ学会の設立にも参画し、理事を務めた。2006年10月1日逝去。

『列冊太陽・発禁本』にて1999年第21回日本出版学会学会賞を受賞。『藤子不二雄論 F&Aの方程式』にて2002年第26回日本児童文学学会賞を受賞。2007年星雲賞特別賞、2010年手塚治虫文化賞特別賞、『戦後エロマンガ史』にて2011年大衆文学研究賞(早乙女貢基金)大衆文化部門受賞。



トークイベント

一、 今こそ読みたい戦後怪奇マンガ&『戦後怪奇マンガ史』

語り手：
米澤英子、想田四、
成瀬正祐、白峰彩子
(本書協力者の皆様)
6月9日(土)16:00～

二、 日野日出志 「原色の地獄絵」

語り手：
日野日出志(マンガ家)
聞き手：
瀧川鯉朝(落語家)
8月4日(土)16:00～

三、 1990年以降の 怪奇恐怖マンガ

語り手：
粟生こずえ
(フリーライター、編集者)
四海鏡
(編集者、ライター、マンガ
ガイド本・マンガ情報サイ
トスタッフ)
9月8日(土)16:00～

各回とも米沢嘉博記念
図書館2階閲覧室にて。

詳細は当館サイトを
ご覧ください。

